

# 会議報告書

会議日時	令和8年5月27日(水) 午後1時30分～午後2時20分
会場	総合福祉センター(大会議室)
会議内容	令和8年度第1回大船渡市健康づくり推進協議会
出席者	健康づくり推進協議会委員7名 ※欠席：鳥羽有委員、千葉一馬委員、佐々木博子委員、熊谷侑希委員 藤原保健福祉部長 健康推進課 藤田課長、藤原課長補佐、小松係長、岡崎係長 地域包括ケア推進室 中井係長

## 会議内容

### 1 開会

委員自己紹介、職員紹介

### 2 あいさつ(部長)

### 3 会長及び副会長の選出

協議会の目的、所掌事項、任期を説明し、会長・副会長の互選について委員に確認した。事務局案を求める声があり、次のとおり、提示し承認された。

会長：畠山政平委員 副会長：山崎高範委員

### 4 議事(事務局から資料により説明。その後質疑を行った。)

#### (1) 令和7年度保健事業の実施状況について … 承認

(山崎委員) 林野火災対応についての社会福祉協議会の取組について

社会福祉協議会ではボランティアセンターを立ち上げたほか、資料記載のとおり、「被災者見守り・相談支援事業」として、被災した方々の自宅を訪問し、相談対応等を行ってきた。

ボランティア活動については、3月頃から6月末までの間、土日を中心に40件ほどの活動を行い、そこに従事した方が600人ほどであった。住居に関しては公的な支援が入ることと、保険の関係があり、なかなか手を付けられなかったことから、活動の内容としては、畑の小屋やその周辺の電気柵、河川の被災木の片付けなどが中心であった。

被災者見守り・相談支援事業については、対象世帯を全戸訪問し、全ての世帯確認済みとなっている。その中で、支援が必要な方には複数回訪問し、再建に向けての相談対応や必要な機関へのつなぎを行っている。多くの世帯がみなし仮設のような形でアパート等に住んでいる。若い世代は地元には戻らず再建するという声もある。逆に高齢の方については、なじみのあるところに戻りたいが土砂崩れの対象地

域になるということで、戻りたくても戻れないといった声もあると聞いている。

(赤岩委員)

資料4ページの計画目標の達成状況で、「12歳(小学6年生)でむし歯がある者の割合」は実績値が25.6%と既に目標を達成しているが、今後、目標値を見直す予定はあるか。また、むし歯は永久歯の割合なのか乳歯も含めた割合なのか教えていただきたい。

(事務局)

指標については、現時点では見直しを想定していないが、中間評価の際に再度、見直したいと考えている。むし歯の割合については、永久歯なのか乳歯も含めたものなのか確認してお知らせする。

(会議終了後、「永久歯の割合」であることを学校教育課から確認した。)

(赤岩委員)

他の市町村では、むし歯のある子どもの割合は減ってきているが、1人のお子さんが複数のむし歯をもっているという課題が指摘されていると聞いている。そういった部分も含めて取り組みを進めてもらえればと思う。

(飯田委員)

28%の目標値は学校保健統計で決まっているものか。

(事務局)

データは学校保健統計を使用したうえで、市として目標値を定めたもの。

(飯田委員)

さきほど話があったとおり、1人のお子さんが複数のむし歯を持っているということについては、私たち歯科医師のなかでも課題としている。資料の「3歳児のむし歯を持たない子どもの割合」についても95.7%と目標を達成はしてはいるが、新たにむし歯ができる子はなかなかいないので、この5%の子どもが12歳になるまでの間に、むし歯の本数が増えていく子になると思う。

3歳～5歳くらいの子どものケアを市でしっかりと提供していただき、歯科医としてもむし歯が増えない状況にもっていきたいと考えている。

(事務局)

ご指摘いただいたとおり、1人のお子さんがむし歯を持っている本数が多いということは、こども家庭センターでも課題としている。ここについては、養育も含めた形で指導していく必要があると考えており、今後、歯科医師の皆様と連携して進めていきたい。

(中村委員)

食生活改善推進員は、諸先輩方を中心に自分達で発案しながら積極的に取り組んでいる。今年度の会議でも、若い人たちがいかに野菜に興味をもって食べてもらえるかというところのアイデアがでてきているので、今後も頑張ってお進んでいきたい。

## (2) 令和8年度保健事業の実施計画(案)について …承認

(白崎委員)

宝探しウォーキングに関連して、スポーツ協会では毎年10月中旬頃にファミリーウォーキングを実施しており、例年100名前後の参加があることから、ウォーキングに関しては皆さん興味があるのかなと感じている。

スポーツ協会でも、大船渡歩こう会というものがあり、定例会で様々なところを歩いているので、こういった団体を活用しながらコラボできたらいいと感じる。

また、河川敷グラウンドの周りを歩いている方達は多世代なので、「ここを何周歩いたらごはん何杯分ですよ」とか数値として見える表記があれば、健康に対する意識がでてくるかなと思う。40代50代の方が健康に意識が向くような仕掛けがあったらよい。

(藤原委員)

骨粗しょう症検診を乳子宮がん検診と一緒にやってもらえるのは、よい取組だと感じた。骨密度の検査をやりたいという方は多い。

(白崎委員)

骨粗しょう症の検査の対象を女性に特化している理由は何か。

(事務局)

国が示している検診対象者の基準がこのようになっており、市では国の基準に合わせて実施している。男性に必要がないわけではないが、女性の方がより必要ということでの基準と解釈している。

(白崎委員)

骨密度の測定は簡単にできるものか。

(事務局)

足のかかとの骨で検査するもの。素足になり機械に足を入れれば、すぐに測ることができる。

(白崎委員)

スポーツ協会では1月、2月頃に様々なニュースポーツの体験会があるが、それだけで人を集めるとなるとなかなか難しい。体験会にプラスして骨密度や血圧測定などをコラボしてできれば、普段参加しないような方にも来ていただけるかと思うし、検診の対象年齢以外の方や男性も測定できれば、自分の体の状態を分かるのでよいかなと思い確認した。

(事務局)

保健所からインボディーの機械を借りて、地域で健康教室をやることなどもあるので、測定会については後ほど一緒に検討させていただきたい。

(山崎委員)

健康まつりについて、9月中に10地区開催するのはかなり大変かと思う。血管年齢測定やミニ講話だけで人を集めるのは難しいと思うので、健康に特化するので

はなく、何かのイベントと抱き合わせで開催する方が効率的なのではないかと思う。

(事務局)

健康まつりについては、今年度の健康教育事業を検討した際、これまではリアスホールや総合福祉センターで開催していたところを、今年度は私達が地域に出向き、地域の健康課題について話をさせていただいたうえで、特定健診の受診率向上も目指すとしたもの。

先ほどご指摘いただいたとおり、講話だけでは人が集まらないだろうということで、各種の測定会も一緒にやることとした。まちづくり協議会や助け合い協議会の皆さんと連携しながら開催するということが計画したが、今いただいたご意見を踏まえて、実施方法については検討したい。

(会長)

昨年度、LINEを使った情報提供を様々に行ったようだが、これは今年度以降も実施予定か。例えば、熊情報などはラインを開くとすぐに表示されるので分かりやすい。健康情報は開いてからホームページに入っていかなければならず、なかなか出てこない。

また、県が公表している新型コロナウイルスの感染状況があるが、市民が知りたいのは、「今週コロナが何人だったのか」などの情報だと思う。市民がすぐに情報をとれるよう、熊情報と同じようなスタイルで出してもらえれば見やすくなり助かる。

(事務局)

情報量が多い場合などに市民の皆さんがキャッチしやすいような情報発信の方法について、今後も検討していきたい。

(3) その他

なし

## 5 閉会